

雲仙・普賢岳噴火災害から25年 犠牲者追悼式を挙



参列者全員で黙とう



古川市長による献水



海上自衛隊佐世保音楽隊
による追悼演奏



井上さんによる遺族代表あいさつ



参列者による献花

雲仙・普賢岳噴火災害から四半世紀となった6月3日の「いのりの日」は、雲仙・普賢岳噴火災害25年犠牲者追悼式をはじめ、市内各所で追悼行事が行われました。

追悼式には、遺族をはじめ関係者など約300人が参列しました。

式では、参列者全員の黙とうから始まり、海上自衛隊佐世保音楽隊による追悼演奏の後、古川市長が式辞で犠牲となられた方々とそのご遺族に対し深く哀悼の意を表するとともに、災害の伝承とこれからのまちづくりに向けた決意、熊本地震に対する復興のメッセージを述べました。

また、遺族による献花の後、遺族を代表して井上康一さんがあいさつを述べました。

厳粛な雰囲気にも包まれた会場で、参列者は犠牲者の冥福を祈り、災害で得た教訓を後世に伝える決意を新たにしました。

犠牲者の冥福を祈る

雲仙・普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑前や消防殉職者慰霊碑前の献花所には多くの市民が訪れました。
また、北上木場農業研修所跡や定点でも多くの人が犠牲者の冥福を祈りました。



高校生による献花



普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑前には多くの市民が献花



『鎮魂』、『復興』、『安泰』の意を込めた消防団の放水
(消防殉職者慰霊碑前献花所)



午後4時8分のサイレンにあわせ黙とう（北上木場農業研修所跡）

災害で得た教訓を後世に

追悼式に併せて、災害当時、全国から寄せられた励ましの手紙や国土交通省雲仙復興事務所の災害復興に向けた取り組み事例の紹介、自衛隊の災害支援活動、災害当時の写真を展示しました。

市内の小中学校では、追悼集会などが行われ、犠牲者の冥福を祈るとともに災害で得た教訓を後世に伝える取り組みが行われました。

また、雲仙岳災害記念館では、未来の子どもたちに噴火災害を伝承するため、コンサートや2500本のキャンドルをともし「いのりの灯」が開催されました。



『いのりの日』集会（四小）



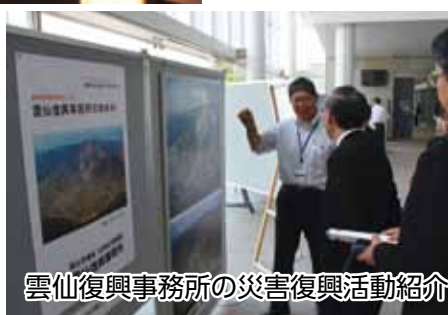
『いのりの日』追悼行事（三中）



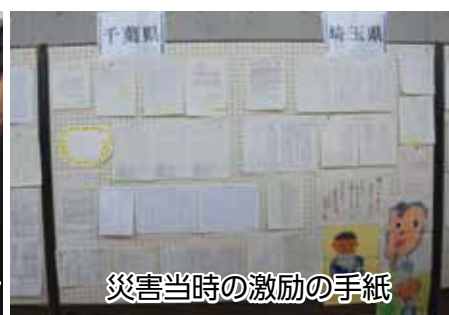
いのりの灯



自衛隊の災害支援活動紹介



雲仙復興事務所の災害復興活動紹介



災害当時の激励の手紙